

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

第13回 定時総会

議 案 書

日 時 令和6(2024)年6月19日(水) 午後1時00分から

場 所 コミュニティながいずみ 3階ホール (下土狩駅前)

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

駿東郡長泉町桜堤1丁目10番9号 長泉町ワークプラザ内

TEL (055) 988-2670

FAX (055) 988-2681

E-mail;nagaizumi@sjc.ne.jp ホームページはこちら
携帯のカメラからもアクセスできます



長泉町シルバー人材センター ライン公式アカウント取得!

こちらから友だち登録してポイントカードを作ろう!

(詳しくはP56)



スローガン

- ◎ 自主 ・ 自立、共働 ・ 共助
- ◎ 会員を増強し、組織の充実を図ろう
- ◎ お客様の気持ちになって
仕事をしよう

第13回 定時総会 次第

1. 開会のことば

2. 理事長 挨拶

3. 来賓祝辞

4. 表彰等

会員在籍20年表彰
会員在籍10年表彰
喜寿祝い

5. 退任役員感謝状贈呈

6. 議長選出

7. 定足数の確認

8. 議事録署名人の指名

9. 報告事項

監事の監査報告

令和5年度事業報告

10. 議 事

第1号議案 令和5年度収支決算について
第2号議案 役員（理事）の選任について

11. 議長退任

12. 事務連絡

13. スローガン唱和

14. 閉会のことば

報告事項

監査報告書

令和6年5月10日

公益社団法人長泉町シルバー人材センター
理事長 山田 幸一 様

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

監事 関 知 典 ㊞

監事 平 川 聡 ㊞

(原本は、署名押印済みです。)

私たち監事は、公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和5年度における会計及び業務の監査を行いました。その方法及び結果について次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和5年度の事業報告及びその附属明細書の内容は真実であり、法令及び定款に違反する重大な事実はないと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和5年度の計算書類及びその附属明細書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、公益社団法人長泉町シルバー人材センターの正味財産増減の状況及び財政状態を適正に表示しているものと認めます。

報告事項

令和5(2023)年度事業報告

令和5(2023)年度公益社団法人長泉町シルバー人材センター事業報告について、
定款第36条第2項の規定により報告する。

令和6(2024)年 6月19日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター
理事長 山田 幸一

令和5（2023）年度事業報告

出生率の低下に伴い労働人口が減少し、超高齢化社会が進展する現状の中で我が国の社会経済の活力を維持するためには、生涯現役を目標とし、できるだけ多くの高齢者が健康で活躍し貢献することが肝要となってきております。シルバー人材センターは、その一端を担う組織として、果たすべき役割はますます重要なものとなっております。

しかしながら、退職年齢の引き上げや新型コロナウイルス感染症拡大に伴う雇用情勢の悪化など、60代の新規会員の加入環境は大変厳しい状況にあります。

こうした中で、当センターでは組織運営や事業実施において、公益法人としての役割を強く意識し、適正就業の推進及び就業機会の拡大のための積極的な活動に努め、安全就業の徹底を図りつつ、植木剪定や草刈り講習などの技能や実習を必要とする後継者育成にも力を注いでいます。

令和5年度末現在では

会員数 301人、賛助会員 21会員

就業実人員 請負206人、派遣44人 合計250人

（請負と派遣を重複して就業している会員は12人いて請負へカウント）

就業率 83.1%、就業延人数 26,139人

会員数は前年度より2人減の微減で、4年間に及んだ新型コロナウイルス感染症の影響もあり、派遣・請負事業実績額は前年度よりも948万円減の1億5,948万円となりました。

会員の加入促進のため、地域の各店舗等から会員が各種サービスの提供を受けることが出来る「得々ガイド」の発行や、年度中途入会者の会費の減額を令和3年10月から始めました。

また、当センターでは、事業情報の要である会報『いぶしぎん』の発行やホームページ、フェイスブック、町の『広報ながいずみ』の活用等を通し、広報活動に力を入れております。

「安全は全てに優先する」という考えの基に、就業中や就業途上等の事故防止のため、安全委員会が中心となり安全パトロールを実施し、蜂の抗体検査の実施やエピペンを所持して、ショック死を防ぐ等の種々な安全対策を実行いたしました。

今後とも、シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」の精神をモットーに役職員と会員が連携を図り、更に関係機関のご支援ご協力を得ながら地域社会のニーズに応えられる事業展開を行ってまいります。

以下、令和5年度事業実施状況について報告いたします。

1 組織の拡大強化

毎月20日と第1土曜日に入会説明会を実施して入会機会の増加に努め、会報『いぶしぎん』や町の『広報ながいずみ』等にもシルバー人材センターの業務内容と会員募集を掲載し、町内へのPRや会員からの紹介活動を実施いたしました。

また、永続的会員の確保のため、会員のみが地元商店等から受けることが出来るサービスをまとめた『得々ガイド』を継続して発行しました。

会員の紹介制度による入会者は、ポイント制度を導入したことで7人増加して12人となり、5年度から実施したゴールド会員の登録者は7人、ボランティア活動参加等の参加による5ポイント以上獲得者(年会費軽減者)が54人となり、組織の活性化と退会抑制に役立っています。

新規入会者は29人となりましたが、31人が退会したため、会員総数は2人減少し、301人となりました。

2 事業実績

長きに渡るコロナ禍の影響から、社会経済活動がコロナ以前の状態に戻りつつあるものの、原油価格・物価高騰の影響により経済情勢は引き続き厳しい状況にある中、受託事業の維持と派遣事業への切り替えに努めてまいりました。

請負の事業収入は1億1,283万円余りとなり、前年度比4.2%減の496万円の減額でした。

派遣事業については4,664万円で前年度比8.8%減の453万円の減となり、合計では5.6%減で948万円減の1億5,948万円となりました。

また、請負の就業延人員は19,639人で前年度に比べ1,950人減、派遣事業の就業延人員6,500人を加えると26,139人で合計では2,779人の減となりました。

事務費は8%から10%に上げたことにより、前年度より228万円の増で969万円となり、派遣手数料は37万円の減で383万円になりました。合計では、1,352万円で191万円の増となりました。

3 広報活動

シルバー人材センターの事業内容及び活動状況等を掲載した会報『いぶしぎん』を2回発行し、3月号では設立35周年「特集号」として各区や関係者の協力を得て町内回覧を行いました。

また、『事務局だより』を1回発行し、各講習会や行事の案内、事務局からのお願いをお知らせしました。

「長泉シルバーLine公式アカウント」を取得したことで、5年度から「お仕事情報」を配信できるようになりました。お仕事を探している人が「お友達登録」することで、希望の仕事を見つけやすくなり、ホームページから入会申し込みする事で、シルバー会員となり就業できるようになりました。

4 就業機会の拡大、就業開拓

コロナが終息する兆しの中、まだまだ就業機会の拡大が望めず、既存受託事業の維持に力点を置き、欠員が生じた際には、仮登録会員を紹介する等、欠員を生じさせないよう就業機会の維持に努めました。

また、軽作業の就業開拓として、封入封緘作業や選挙公報配布の作業も実施することができました。

5 講習会、研修会等

(1) 主催した会員講習会等

① 入会説明会及び講習会時の入会説明

入会の希望者に対して毎月 20 日と第一土曜日に説明会を開催し、各種講習会で入会説明を行い、仮登録や本登録をして頂きました。

入会説明会及び講習会出席者の内
新規仮登録者 29 人 年度末仮登録者 100 人

② 交通安全講習会

裾野警察署交通課と交通安全指導員の協力を得て、KYT機材を使用した交通安全講習会を実施しました。

開催年月日 令和5年8月29日
会場 町在宅福祉総合センター
参加者 35人

③ 独自事業

○リフォームひまわり 延 134 人 132,095 円
○木工班 延 122 人 6,600 円
○フラワーアレンジメント講習
開催数 12 回
参加者 延 59 人

④ 植木剪定技能講習

植木剪定講習 令和5年9月25日～9月29日(5日間)
加々見園 6人受講(会員6人)

⑤ スマホ講習会

スマホアンケートを実施し、会員が保有しているスマホの種類及びスマホ習熟度を調べました。個別指導(1時間半)を行い、スマホの操作に不慣れな会員に対して講師がマンツーマンでスマイル登録、ラインお友達登録、その他相談に対応しました。

また、習熟度、スマホ機種ごとに初級講座、中級講座を開催しました。

個別指導	8月～3月	161人	
中級講座	12月	2講座	10人参加
	1月	6講座	25人参加
	3月	7講座	16人参加
			合計 51人参加
初級講座	3月	8講座	13人参加

中級・初級講座受講者数 総合計 64人

スマホアンケート回答者 252人中 スマホ所有者 199人 79.0%

会員数 301人中	スマイル登録者	161人	53.5%
	ラインお友達登録者	156人	51.8%
	講座受講者	64人	21.3%

(2) 役職員等会議研修会

4月19日	東部ブロック事務局長会議	富士市
4月25日	県シ連事務局長会議	静岡市
6月21日	県シ連総会	静岡市
7月7日	業務担当者研修会	静岡市
7月19日	安全・適正就業推進研修会	静岡市
8月30日	業務担当者研修会	静岡市
9月28日	派遣元責任者講習	静岡市
9月28日	東部ブロック職員研修	富士市
10月20日	県シ連事務局長会議	静岡市
10月20日	新任理事長研修	東京都
1月19日	東部ブロック女性職員研修会	富士市
2月8日	県シ連事務局長会議	静岡市
2月15日	契約方法見直しコンサルティング	静岡市
2月21日	県シ連就業開拓委員会研修	静岡市
3月10日	東部ブロック代表者研修会	富士市
3月13日	法改正に伴う派遣システム研修	静岡市

6 地域社会奉仕活動

(1) ボランティア町内一斉美化活動

10月21日 会員宅から役場第3駐車場までごみ拾い 参加64人

(2) 桜堤遊歩道の清掃ボランティアとウォーキング

桜堤遊歩道をウォーキングしながら、ごみ拾い等の清掃ボランティア活動として、毎月1回第3水曜日に実施。(清掃用具は事務所に用意)

12回 〈参加者〉 140人

7 会議関係

(1) 総会

第12回定時総会

開催日時 令和5年6月23日(金)9:30~

開催場所 コミュニティながいずみ 3階

出席会員数 232人(うち議決権行使書による書面表決者166人)

会員数 303人 合計出席率 76.6%

第1号議案 令和4年度収支決算

第2号議案 役員(理事、監事)の選任

第3号議案 ゴールド会員関連規定の改正

(2) 理事会

第1回 令和5年5月15日

第1号 令和5年度定時総会の日程、場所等

第2号 令和4年度監査報告

第3号 令和4年度事業報告承認 (総会報告事項)

第4号 令和4年度収支決算承認 (総会第1号議案)

第5号 令和5年度役員選任 (総会第2号議案)

- 臨時理事会 令和5年6月23日
 第1号 代表理事等の選出について
- 第2回 令和5年7月24日
 第1号 専門部会の校正について
 第2号 資産取得資金の積み立てについて
- 第3回 令和5年9月25日
 報告事項のみ(町内一斉清掃ボランティア、地域懇談会実施状況他)
- 第4回 令和5年11月27日
 第1号 ゴールド会員申請者の承認について
- 第5回 令和6年1月29日
 第1号 役員賠償責任保険について
- 第6回 令和6年3月18日
 第1号 職員給与規程の一部改正
 第2号 令和6年度事業計画
 第3号 令和6年度収支予算・資金調達及び設備投資の見込み
 第4号 役員(理事)及び事務局長の選任について

(3) 各部会等

- ①理事等選考委員会 3/13
- ②広報部会 6/16 7/14 7/28 8/25 いぶしぎん9月1日号発行
 12/8 1/19 1/26 2/22 いぶしぎん3月1日号発行
- ③総務・事業部会 1/29 3/18

(4) 業務執行状況及び会計監査

令和4年度分会計及び業務監査(当センター監事) 令和5年5月9日

(5) 地域班長会

- 第1回 5/22 定時総会について
 地域懇談会について

8 安全活動の状況

(1) 安全委員会

- 第1回 6/27 安全就業のための対策
 第2回 10/25 令和5年度事故発生状況及びパトロール

(2) 安全就業パトロール

一般家庭・企業・公共施設の草刈り、草取り、剪定作業現場を巡回し、ヘルメット・安全ベルトの着用、作業時の服装、脚立の掛け方等についてチェックし、会員の安全就業状況を確認しました。

- 6/27 熱中症対策パトロール
 10/25 安全委員会巡回訪問 1箇所

(3) 職員による日常パトロール 令和5年4月～令和6年3月 87箇所

(4) 安全適正就業推進研修会

- 7/19 安全・適正就業推進研修会(静岡)8人参加

(5) 蜂の抗体検査とショック緩和剤エピペンの所持の更新

過去に蜂刺されにより抗体ができている場合、再度の蜂刺されによりアナフィラキシーショックで、数分から数10分で呼吸困難等、重篤な症状を起こすことがあるため、このような状態を回避する目的で、植木・草刈り・草取り会員は、抗体検査とショックの緩和剤の注射器（エピペン）を所持することになりました。

検査実施日 5月29日～6月29日 53人 シルバーの負担額 48,780円

(6) 植木剪定の剪定可能な樹高の周知

令和3年4月から、幹の天端4m以上の剪定ができなくなったため、受注時及び予約票送付時に周知し会員の安全確保を図りました。

(7) 熱中症対策

8月11～20日の10日間パッカー車によるごみ回収を休業し、併せて植木・草刈り・草取り作業も原則休業としました。

夏季期間中の休憩回数の確保と水分補給に対する理解を促しました。

6月27日安全委員会による熱中症対策パトロールを実施して、草取り作業等の現場を巡回し、温湿計器によるチェックと健康チェックシートによる体調確認を行い注意喚起に努めました。

(8) 安全就業の徹底

安全対策は、就業中や就業途上の交通事故等の事故防止のため安全パトロールや、会報「いぶしぎん」などによる啓蒙、夏季猛暑時には巡回活動を行い熱中症対策に努め、事故ゼロを目指してまいりました。

令和5年度の事故は7件で前年度と比べて1件減少しました。事故種別は次表のとおりです。

令和5年度 月別事故状況

カッコ内の数字は熱中症

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
傷害	0	0	2(1)	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4(1)
物損	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	3	0	1	2	0	0	1	0	0	0	7

【内訳】 傷害事故：屋外軽作業中の事故1件、屋内軽作業中の事故1件
剪定作業中の事故1(1)件、就業先途上転倒1件
物損事故：草刈り中の飛石事故3件

(9) 植木・草刈り・草取り予約制の導入

令和2年度から繁忙期における会員の負担軽減と、就業の均一化を目的に、過去2年間の受注実績のあるお客様に事前予約のための「予約依頼書」を1月19日に送付し、3月1日までに受注を受け付けました。

(受注状況)

令和5年度分	植木剪定	204件	草刈り	36件	草取り	79件
令和6年度分	植木剪定	239件	草刈り	43件	草取り	79件

9 地域懇談会

開催日程 8月6日～10月7日
参加者 102人
内 容 会員からの意見、要望について
事務局からの連絡事項

10 ふれあい文化祭

会員の趣味・特技から独自事業の展開を目指して、実行委員会を中心に実施しました。鉄道模型、eスポーツゲーム体験やチャットGTP体験などの新しいコーナーも設け、会員同士や一般の方との交流も深めることができました。

開催日 令和6年3月10日(日)
参加者 155人(会員75人、一般80人)
作品展示 38人 104点

11 地域社会行事等参加

福祉健康まつり 令和5年10月15日 10人参加

12 会員研修旅行

新型コロナウイルス感染症対策として2回に分けて実施しました。

「山梨県ぶどう狩りと信玄餅詰め放題」

1回目 10月10日 参加者26名
2回目 10月30日 参加者27名

13 シルバー派遣事業

法令遵守に基づく適正就業の推進により、派遣就業実人員は、昨年から3人減少して57人となり、全体の就業実人員250人の内、派遣が22.8%を占めました。

(1) 前年比実績

派遣事業所9社(前年10) 就業延人数 6,500人(前年7,329)
就業実人数57人(前年60) 派遣契約実績 46,645,827円(前年51,173,698)

(2) キャリアアップ研修

就業から9か月以上の派遣を対象に行うキャリアアップ研修を2回に分けて開催しました。

1回目 8月29日 交通安全講習会 講師 裾野警察署員 参加者14名
2回目 9月7日 介護予防講習会 シルバー事務局職員 参加者13名

令和5年度事業報告 附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成いたしません。

賛助会員名簿

令和6(2024)年3月31日 (順不同・敬称略)

賛助会員名	所在地
コイト電工(株) 富士長泉工場	長泉町南一色
富士伊豆農業協同組合 長泉支店	// 下土狩
帝人(株) 三島事業所	// 上土狩
東レ(株) 三島工場	三島市
特種東海製紙(株)	長泉町本宿
長泉町商工会	// 下土狩
日商産業(株)	// 東野
(株)フカサワ	// 桜堤
三島信用金庫 下土狩支店	// 下土狩
(株)山口製作所	沼津市足高
(有)井出園芸	長泉町元長窪
(株)山本	// 下土狩
長泉環境(株)	// 本宿
(株)スワベ商会	// 下土狩
(株)三島ダイハツ	// 下土狩
山一金属(株)	// 本宿
三島燃料(株)	// 下土狩
大静高圧(株)	// 本宿
(株)共同開発	// 下土狩
(株)米山製作所	// 納米里
西島農機	// 納米里

会員の現況

令和6年3月末現在

会員の年齢別構成表

年齢（歳）	男性	女性	合計	構成比
～59	0	0	0	0.0%
60～64	1	3	4	1.3%
65～69	21	10	31	10.3%
70～74	49	36	85	28.2%
75～79	52	40	92	30.6%
80～	52	37	89	29.6%
合計	175	126	301	100%
構成比	58.1%	41.9%	100%	

会員の平均年齢

男性	女性	合計
76.8歳	76.4歳	76.6歳

会員の最高年齢

男性	女性
94歳	87歳

会員入退会状況

区分	入 会		退 会		合 計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
期初会員数					178	125
期中入退会	15	14	18	13	-3	1
期末会員数					175	126
期初会員303名	入 会	29名	退 会	31名	総会員数	301名

退会者理由別人員

区分	男性	女性	合計
病気のため	2	4	6
就職のため	2	1	3
死亡のため	1	0	1
仕事がない	1	0	1
家庭の事情	0	0	0
加齢	4	5	9
その他	8	3	11
合計	18	13	31

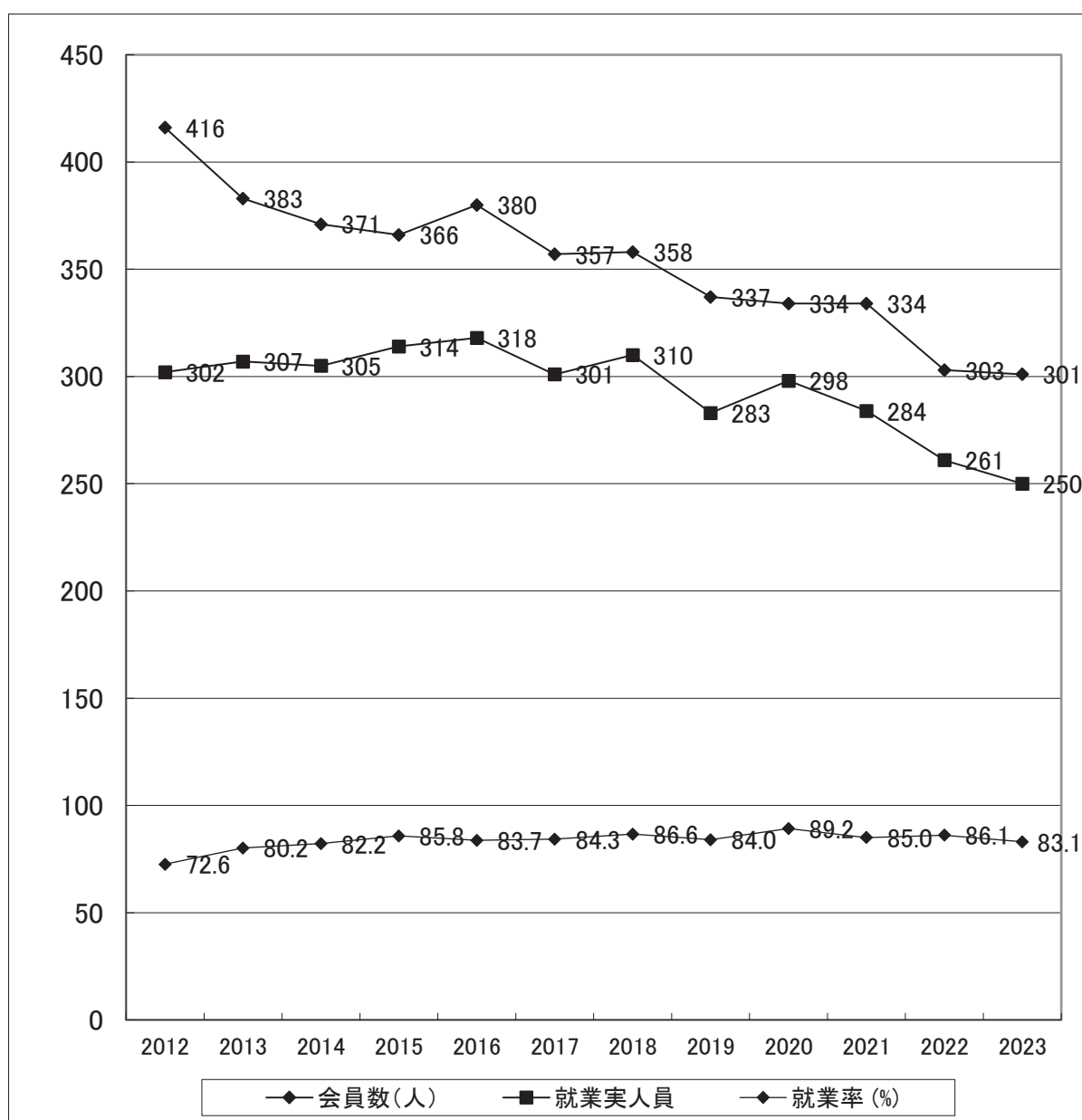
在会期間別会員数

区分	男性	女性	合計
1年未満	15	14	29
1年～2年未満	13	8	21
2年～4年未満	30	21	51
4年～6年未満	24	10	34
6年～8年未満	15	13	28
8年～10年未満	14	14	28
10年以上	64	46	110
合計	175	126	301

年度別 会員数、就業率推移

平成・令和	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
西暦	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
会員数(人)	416	383	371	366	380	357	358	337	334	334	303	301
就業実人員	302	307	305	314	318	301	310	283	298	284	261	250
就業率(%)	72.6	80.2	82.2	85.8	83.7	84.3	86.6	84.0	89.2	85.0	86.1	83.1

会員数は3月31日現在



令和5(2023)年度 月別事業実績(1)

月	会員数	請 負									
		就業 実人員	就業率	事業	受託件数	就業延人員	契 約 金 額			合計	累計
							配分金	材料費等	事務費		
4	303			公	23	477	2,437,892	178,702	255,961	2,872,555	2,872,555
	307	159	51.8%	民	134	1,011	4,533,721	226,177	449,756	5,209,654	5,209,654
				計	157	1,488	6,971,613	404,879	705,717	8,082,209	8,082,209
5				公	30	530	2,734,903	365,302	302,718	3,402,923	6,275,478
	304	163	53.6%	民	165	1,161	5,193,010	437,885	532,573	6,163,468	11,373,122
				計	195	1,691	7,927,913	803,187	835,291	9,566,391	17,648,600
6				公	36	568	2,980,849	371,371	323,111	3,675,331	9,950,809
	298	165	55.4%	民	234	1,319	6,045,185	834,635	635,296	7,515,116	18,888,238
				計	270	1,887	9,026,034	1,206,006	958,407	11,190,447	28,839,047
7				公	45	740	4,208,509	679,997	463,358	5,351,864	15,302,673
	301	157	52.2%	民	185	1,146	5,274,627	394,360	529,410	6,198,397	25,086,635
				計	230	1,886	9,483,136	1,074,357	992,768	11,550,261	40,389,308
8				公	28	568	3,013,985	393,383	328,532	3,735,900	19,038,573
	300	155	51.7%	民	153	1,005	4,719,558	706,739	483,138	5,909,435	30,996,070
				計	181	1,573	7,733,543	1,100,122	811,670	9,645,335	50,034,643
9				公	40	600	3,267,666	654,810	365,687	4,288,163	23,326,736
	302	164	54.3%	民	182	1,131	5,257,274	653,387	538,886	6,449,547	37,445,617
				計	222	1,731	8,524,940	1,308,197	904,573	10,737,710	60,772,353
10				公	41	652	3,446,442	647,187	384,502	4,478,131	27,804,867
	303	168	55.4%	民	236	1,415	6,547,259	1,083,516	696,460	8,327,235	45,772,852
				計	277	2,067	9,993,701	1,730,703	1,080,962	12,805,366	73,577,719
11				公	32	592	3,047,570	338,961	320,902	3,707,433	31,512,300
	304	169	55.6%	民	203	1,273	6,052,021	680,056	618,431	7,350,508	53,123,360
				計	235	1,865	9,099,591	1,019,017	939,333	11,057,941	84,635,660
12				公	26	503	2,626,595	213,189	275,370	3,115,154	34,627,454
	302	158	52.3%	民	156	990	4,484,006	457,035	453,315	5,394,356	58,517,716
				計	182	1,493	7,110,601	670,224	728,685	8,509,510	93,145,170
1				公	25	453	2,244,384	233,077	237,985	2,715,446	37,342,900
	301	142	47.2%	民	91	734	3,193,852	65,063	313,896	3,572,811	62,090,527
				計	116	1,187	5,438,236	298,140	551,881	6,288,257	99,433,427
2				公	25	503	2,328,401	241,168	253,348	2,822,917	40,165,817
	304	144	47.4%	民	119	799	2,976,278	104,938	300,328	3,381,544	65,472,071
				計	144	1,302	5,304,679	346,106	553,676	6,204,461	105,637,888
3				公	32	672	2,979,410	336,262	317,404	3,633,076	43,798,893
	301	157	52.2%	民	114	797	3,094,914	156,746	313,092	3,564,752	69,036,823
				計	146	1,469	6,074,324	493,008	630,496	7,197,828	112,835,716
計				公	383	6,858	35,316,606	4,653,409	3,828,878	43,798,893	
	301	206	68.4%	民	1,972	12,781	57,371,705	5,800,537	5,864,581	69,036,823	
				計	2,355	19,639	92,688,311	10,453,946	9,693,459	112,835,716	
月 平 均				公	32	572	2,943,051	387,784	319,073	3,649,908	
				民	164	1,065	4,780,975	483,378	488,715	5,753,069	
				計	196	1,637	7,724,026	871,162	807,788	9,402,976	

民間・・・企業+家庭+独自

令和5(2023)年度 月別事業実績(2)

月	派遣			派遣+請負		
	就業実人員	就業延人員	契約金額	就業実人員合計	就業延人員合計	契約金額合計
4			199,491		477	3,072,046
	47	530	3,555,264	206	1,541	8,764,918
			3,754,755		2,018	11,836,964
5			205,074		530	6,680,043
	47	526	3,424,240	210	1,687	18,352,626
			3,629,314		2,217	25,032,669
6			206,369		568	10,561,743
	47	545	3,622,882	212	1,864	29,490,624
			3,829,251		2,432	40,052,367
7			240,764		740	16,154,371
	50	597	3,981,158	207	1,743	39,670,179
			4,221,922		2,483	55,824,550
8			233,886		568	20,124,157
	51	581	3,803,626	206	1,586	49,383,240
			4,037,512		2,154	69,507,397
9			237,783		600	24,650,103
	51	573	3,718,115	215	1,704	59,550,902
			3,955,898		2,304	84,201,005
10			226,072		652	29,354,306
	49	574	4,024,339	217	1,989	71,902,476
			4,250,411		2,641	101,256,782
11			130,909		592	33,192,648
	47	544	3,796,434	216	1,817	83,049,418
			3,927,343		2,409	116,242,066
12			137,800		503	36,445,602
	47	529	3,692,311	205	1,519	92,136,085
			3,830,111		2,022	128,581,687
1			144,689		453	39,305,737
	46	476	3,402,002	188	1,210	99,110,898
			3,546,691		1,663	138,416,635
2			134,555		503	42,263,209
	46	498	3,553,007	190	1,297	106,045,449
			3,687,562		1,800	148,308,658
3			201,507		672	46,097,792
	46	527	3,773,550	203	1,324	113,383,751
			3,975,057		1,996	159,481,543
(派遣実人員)	57		2,298,899		6,858	46,097,792
計(注1)	44	6,500	44,346,928	250	19,281	113,383,751
		6,500	46,645,827	83.1%	26,139	159,481,543
月 平 均	公				572	3,841,483
	民	542	3,695,577		1,607	9,448,646
	計	542	3,887,152		2,178	13,290,129

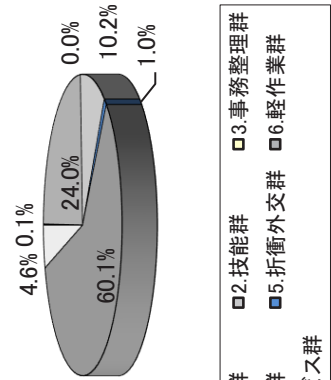
(注1)派遣の実人員計は、派遣実人員数から請負を重複して就業している人数を引いてあります。

職群別・公共民間別事業実績

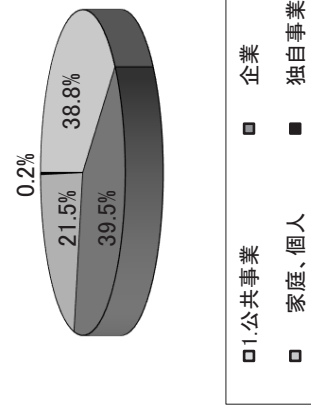
令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日

事項及び区分	受注件数	就業延人員	契約金額 (単位:円)				合計	金額比率
			配分金	材料費等	事務費			
1.技術群	1	12	26,819	30,000	2,681	59,500	0.1%	
2.技能群	614	3,188	18,923,856	6,039,617	2,162,717	27,126,190	24.0%	
3.事務整理群	1	3	2,190	0	219	2,409	0.0%	
4.管理群	18	2,008	10,009,046	460,199	1,047,512	11,516,757	10.2%	
5.折衝外交群	2	210	1,069,802	0	105,266	1,175,068	1.0%	
6.軽作業群	621	12,477	57,961,502	3,862,596	5,901,826	67,725,924	60.1%	
7.サービスクラス	76	1,741	4,695,096	61,534	473,238	5,229,868	4.6%	
合計	1,333	19,639	92,688,311	10,453,946	9,693,459	112,835,716	100.0%	
公共	165	6,858	35,316,606	4,653,409	3,828,878	43,798,893	38.8%	
民間	1,168	12,781	57,371,705	5,800,537	5,864,581	69,036,823	61.2%	
別	237	8,532	37,243,468	3,363,992	3,918,180	44,525,640	39.5%	
企業	928	4,153	19,975,159	2,406,545	1,931,284	24,312,988	21.5%	
家庭、個人	3	96	153,078	30,000	15,117	198,195	0.2%	
独自事業	1,333	19,639	92,688,311	10,453,946	9,693,459	112,835,716	100.0%	

職群別比較グラフ

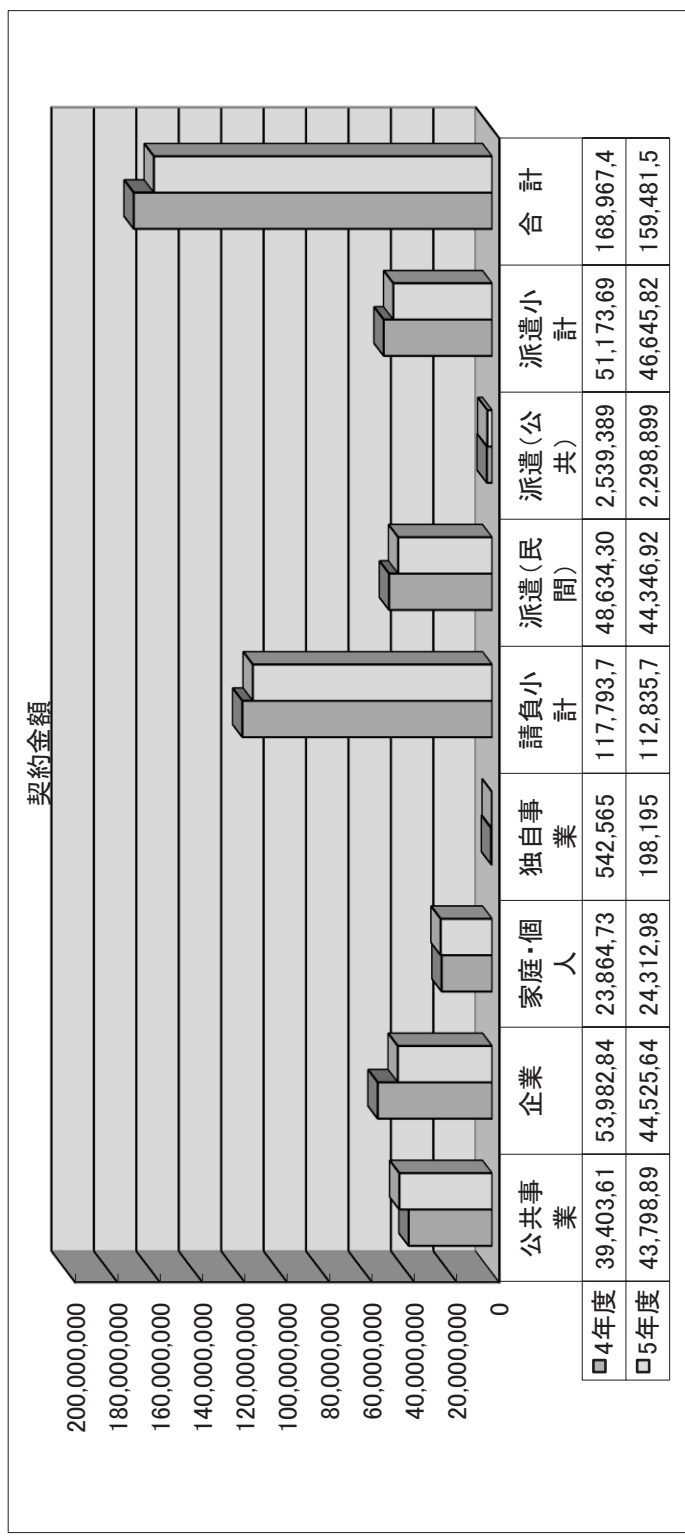


業別比較グラフ



契約高前年度(2022:2023)対比

区分	就業延人員			受注件数			契約金額 (単位:円)		
	4年度	5年度	前年対比	4年度	5年度	前年対比	4年度	5年度	前年対比
	公共事業	6,363	6,858	107.8%	164	165	100.6%	39,403,616	43,798,893
民間事業	15,226	12,781	83.9%	1,101	1,168	106.1%	78,390,139	69,036,823	88.1%
企業	10,689	8,532	79.8%	233	237	101.7%	53,982,842	44,525,640	82.5%
家庭・個人	4,326	4,153	96.0%	864	928	107.4%	23,864,732	24,312,988	101.9%
独自事業	211	96	45.5%	4	3	75.0%	542,565	198,195	36.5%
請負小計	21,589	19,639	91.0%	1,265	1,333	105.4%	117,793,755	112,835,716	95.8%
派遣(民間)	6,926	6,145	88.7%	17	16	94.1%	48,634,309	44,346,928	91.2%
派遣(公共)	403	355	88.1%	1	1	100.0%	2,539,389	2,298,899	90.5%
派遣小計	7,329	6,500	88.7%	18	17	94.4%	51,173,698	46,645,827	91.2%
合計	28,918	26,139	90.4%	1,283	1,350	105.2%	168,967,453	159,481,543	94.4%



第1号議案

令和5(2023)年度収支決算について

令和5(2023)年度公益社団法人長泉町シルバー人材センター収支決算について
定款第36条第2項の規定により承認を求める。

令和6(2024)年 6月19日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター
理事長 山田 幸一

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	73,202	77,389	△ 4,187
当座預金	8,634,915	9,246,616	△ 611,701
普通預金	1,851,835	2,765,418	△ 913,583
未収金	10,020,072	9,006,250	1,013,822
仮払金	0	0	0
立替金	21,000	11,500	9,500
前払金	0	0	0
流動資産合計	20,601,024	21,107,173	△ 506,149
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
減価償却引当資産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	4,323,910	3,368,063	955,847
固定資産取得積立資産	8,253,023	6,292,644	1,960,379
財政運営資金積立資産	0	0	0
特定資産合計	12,576,933	9,660,707	2,916,226
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	289,392	994,326	△ 704,934
車輛運搬具減価償却累計額	0	0	0
什器備品	36,274	287,188	△ 250,914
什器備品減価償却累計額	0	0	0
出資金	10,000	10,000	0
電話加入権	224,224	224,224	0
預託金	78,160	81,470	△ 3,310
その他固定資産合計	638,050	1,597,208	△ 959,158
固定資産合計	13,214,983	11,257,915	1,957,068
資産合計	33,816,007	32,365,088	1,450,919
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,918,741	8,135,115	△ 216,374
前受金	417,571	470,961	△ 53,390
預り金	496,895	322,630	174,265
仮受金	0	0	0
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	8,833,207	8,928,706	△ 95,499
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	8,833,207	8,928,706	△ 95,499
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	24,982,800	23,436,382	1,546,418
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(12,576,933)	(9,660,707)	(2,916,226)
正味財産合計	24,982,800	23,436,382	1,546,418
負債及び正味財産合計	33,816,007	32,365,088	1,450,919

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	112,835,716	117,892,451	△ 5,056,735
受取配分金	92,688,311	98,705,273	△ 6,016,962
受取材料費等	10,453,946	11,777,507	△ 1,323,561
受取事務費	9,693,459	7,409,671	2,283,788
施設管理委託収益	755,000	755,000	0
施設管理委託収益	755,000	755,000	0
労働者派遣事業等受託収益	3,825,751	4,200,038	△ 374,287
労働者派遣事業等受託収益	3,825,751	4,200,038	△ 374,287
有料職業紹介事業受託収益	0	0	0
有料職業紹介事業受託収益	0	0	0
受取会費	772,000	784,500	△ 12,500
正会員受取会費	607,000	614,500	△ 7,500
賛助会員受取会費	165,000	170,000	△ 5,000
受取補助金等	27,000,000	27,000,000	0
受取連合交付金	13,500,000	13,500,000	0
受取(町)補助金	13,500,000	13,500,000	0
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
特定資産運用益	110	47	63
特定資産受取利息	110	47	63
雑収益	8,062	10,283	△ 2,221
受取利息	72	63	9
雑収益	7,990	10,220	△ 2,230
経常収益計	145,196,639	150,642,319	△ 5,445,680
(2) 経常費用			
事業費	140,752,660	146,355,292	△ 5,602,632
支払配分金	92,690,501	98,708,693	△ 6,018,192
支払材料費等	10,203,022	10,812,145	△ 609,123
給料手当	3,341,644	3,162,990	178,654
臨時雇賃金	1,098,782	2,869,239	△ 1,770,457
法定福利費	3,079,352	3,030,531	48,821
退職給付費用	1,471,086	1,695,304	△ 224,218
福利厚生費	82,661	44,972	37,689
会議費	55,903	4,574	51,329
旅費交通費	275,960	198,616	77,344
通信運搬費	771,494	645,985	125,509
減価償却費	955,847	1,203,734	△ 247,887
消耗什器備品費	250,150	390,202	△ 140,052
消耗品費	1,244,596	898,318	346,278
修繕費	381,797	126,410	255,387
印刷製本費	380,500	306,300	74,200
光熱水料費	613,177	761,230	△ 148,053
賃借料	1,472,193	1,391,942	80,251
保険料	1,522,176	1,634,126	△ 111,950
諸謝金	17,500,495	15,302,688	2,197,807
租税公課	718,894	329,199	389,695
支払負担金	58,900	46,500	12,400
委託費	2,516,213	2,681,514	△ 165,301
教材費	0	0	0
支払手数料	16,347	5,080	11,267
雑費	50,970	105,000	△ 54,030
管理費	2,897,560	2,326,648	570,912
給料手当	456,271	424,837	31,434
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	74,065	69,077	4,988
退職給付費用	44,802	44,424	378

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
福利厚生費	49,500	67,317	△ 17,817
会議費	97,841	139,997	△ 42,156
旅費交通費	342,052	277,280	64,772
通信運搬費	58,038	93,492	△ 35,454
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	9,466	△ 9,466
消耗品費	38,366	36,465	1,901
修繕費	19,342	5,970	13,372
印刷製本費	159,500	150,700	8,800
光熱水料費	32,273	16,860	15,413
賃借料	448,832	59,876	388,956
保険料	53,674	53,714	△ 40
諸謝金	0	0	0
租税公課	6,906	2,001	4,905
支払負担金	399,347	395,910	3,437
委託費	140,580	449,728	△ 309,148
支払手数料	360,171	20,114	340,057
雑費	116,000	9,420	106,580
経常費用計	143,650,220	148,681,940	△ 5,031,720
評価損益等調整前当期経常増減額	1,546,419	1,960,379	△ 413,960
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,546,419	1,960,379	△ 413,960
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
車両運搬具除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	1,546,418	1,960,379	△ 413,961
一般正味財産期首残高	23,436,382	21,476,003	1,960,379
一般正味財産期末残高	24,982,800	23,436,382	1,546,418
II 指定正味財産増減の部			0
(1) 収益			0
収益計	0	0	0
(2) 費用			0
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	24,982,800	23,436,382	1,546,418

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計 小計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	110,324,156	0	112,835,716
受取配分金	92,688,311	0	92,688,311
受取材料費等	10,453,946	0	10,453,946
受取事務費	7,181,899	2,511,560	9,693,459
施設管理委託収益	755,000	0	755,000
施設管理委託収益	755,000	0	755,000
労働者派遣事業等受託収益	3,825,751	0	3,825,751
労働者派遣事業等受託収益	3,825,751	0	3,825,751
有料職業紹介事業受託収益	0	0	0
有料職業紹介事業受託収益	0	0	0
受取会費	386,000	386,000	772,000
正会員受取会費	303,500	303,500	607,000
賛助会員受取会費	82,500	82,500	165,000
受取補助金等	27,000,000	0	27,000,000
受取連合交付金	13,500,000	0	13,500,000
受取(町)補助金	13,500,000	0	13,500,000
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
特定資産運用益	110	0	110
特定資産受取利息	110	0	110
雑収益	8,062	0	8,062
受取利息	72	0	72
雑収益	7,990	0	7,990
経常収益計	142,299,079	2,897,560	145,196,639
(2) 経常費用			
事業費	140,752,660	0	140,752,660
支払配分金	92,690,501	0	92,690,501
支払材料費等	10,203,022	0	10,203,022
給料手当	3,341,644	0	3,341,644
臨時雇賃金	1,098,782	0	1,098,782
法定福利費	3,079,352	0	3,079,352
退職給付費用	1,471,086	0	1,471,086
福利厚生費	82,661	0	82,661
会議費	55,903	0	55,903
旅費交通費	275,960	0	275,960
通信運搬費	771,494	0	771,494
減価償却費	955,847	0	955,847
消耗什器備品費	250,150	0	250,150
消耗品費	1,244,596	0	1,244,596
修繕費	381,797	0	381,797
印刷製本費	380,500	0	380,500
光熱水料費	613,177	0	613,177
賃借料	1,472,193	0	1,472,193
保険料	1,522,176	0	1,522,176
諸謝金	17,500,495	0	17,500,495
租税公課	718,894	0	718,894
支払負担金	58,900	0	58,900
委託費	2,516,213	0	2,516,213
教材費	0	0	0
支払手数料	16,347	0	16,347
雑費	50,970	0	50,970
管理費	0	2,897,560	2,897,560

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計 小計	法人会計	合計
給料手当	0	456,271	456,271
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	0	74,065	74,065
退職給付費用	0	44,802	44,802
福利厚生費	0	49,500	49,500
会議費	0	97,841	97,841
旅費交通費	0	342,052	342,052
通信運搬費	0	58,038	58,038
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	38,366	38,366
修繕費	0	19,342	19,342
印刷製本費	0	159,500	159,500
光熱水料費	0	32,273	32,273
賃借料	0	448,832	448,832
保険料	0	53,674	53,674
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	6,906	6,906
支払負担金	0	399,347	399,347
委託費	0	140,580	140,580
支払手数料	0	360,171	360,171
雑費	0	116,000	116,000
経常費用計	0	2,897,560	143,650,220
評価損益等調整前当期経常増減額	1,546,419	0	1,546,419
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,546,419	0	1,546,419
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
車両運搬具除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,546,418	0	1,546,418
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,546,418	0	1,546,418
一般正味財産期首残高	23,386,792	49,590	23,436,382
一般正味財産期末残高	24,933,210	49,590	24,982,800
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	24,933,210	49,590	24,982,800

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 会計処理の基準については、公益法人会計基準(平成20年基準)に準拠している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
減価償却資産について、定率法により直接減価償却を実施している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
減価償却引当資産	3,368,063	955,847	0	4,323,910
財政運営資金積立資産	0	0	0	0
固定資産取得積立資産	6,292,644	1,960,379	0	8,253,023
合 計	9,660,707	2,916,226	0	12,576,933

* 特定資産は一般正味財産からの充当額である。

3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	13,943,343	13,653,951	289,392
什器備品	1,150,298	1,114,024	36,274
合 計	15,093,641	14,767,975	325,666

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	10,020,072	0	10,020,072
合 計	10,020,072	0	10,020,072

5. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営費補助金	国	0	13,500,000	13,500,000	0	-
運営費補助金	町	0	13,500,000	13,500,000	0	-
合計		0	27,000,000	27,000,000	0	

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

財 産 目 録

令和6(2024)年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	手許有高	運転資金として	73,202
当座預金	富士伊豆農業協同組合長泉支店	運転資金として	8,634,915
普通預金	富士伊豆農業協同組合長泉支店	運転資金として	490,574
	三島信用金庫下土狩支店	運転資金として	1,360,591
	スルガ銀行長泉支店	運転資金として	670
未収金		公益目的事業未収金として	10,020,072
立替金		公益目的事業立替金として	21,000
前払金		公益目的事業前払金として	0
流動資産合計			20,601,024
2 固定資産			
(1) 特定資産			
減価償却引当資産	定期・普通・富士伊豆農協長泉支店	減価償却資産買換え資金として管理	1,072,673
	普通・富士伊豆農協長泉支店		3,251,237
固定資産取得積立資産	普通・富士伊豆農協長泉支店	固定資産を取得する資金として	8,253,023
特定資産合計			12,576,933
(2) その他の固定資産			
車両運搬具	車両 10台	公益目的保有財産であり、公益目的事業用として	289,392
什器備品	ポリシヤー他	公益目的保有財産であり、公益目的事業用として	36,274
出資金	三島信用金庫下土狩支店	公益目的事業用として	10,000
電話加入権	3回線	(共用財産)公益目的保有財産であり、公益目的事業用と管理運営の用に供している。	224,224
預託金		公益目的事業用として、自動車リサイクル料金	78,160
その他固定資産合計			638,050
固定資産合計			13,214,983
資産合計			33,816,007
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	会員	3月分配分金他	7,918,741
前受金	会員	次年度会費他前受金	417,571
預り金	社員	社会保険料等の預り金	496,895
仮受金		公益目的事業仮受金として	0
流動負債合計			8,833,207
負債合計			8,833,207
正味財産			24,982,800

第2号議案

役員（理事）の選任について

公益社団法人長泉町シルバー人材センター役員（理事）の選任について、
定款第21条の規定により承認を求める。

令和6年6月19日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター
理事長 山田 幸一

役員候補者名簿

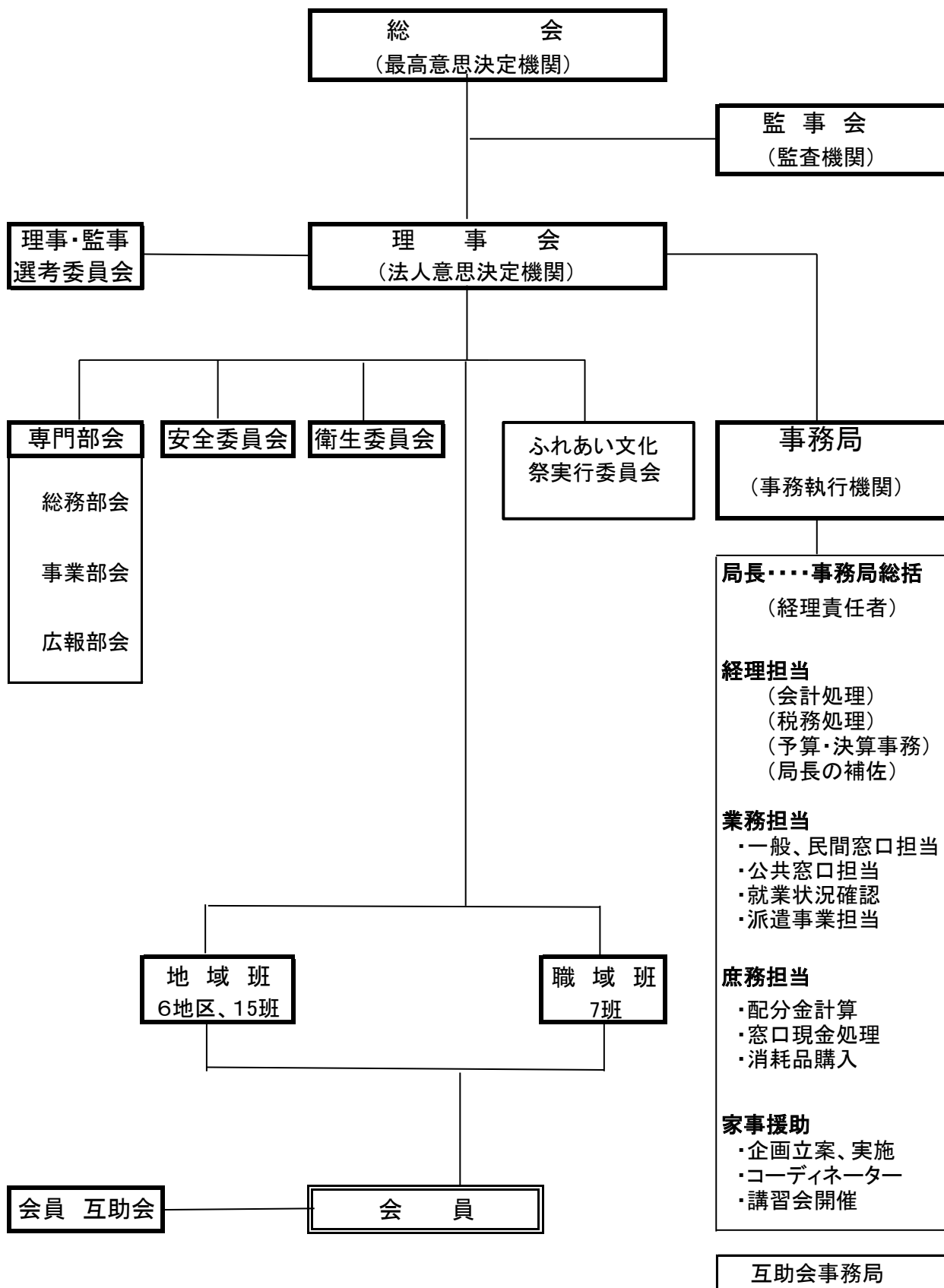
任期 令和6年定時総会時～令和7年定時総会時

番号	役職名	候補者氏名	
1	理事	加藤 芳往	
2	理事	上山 克己	
3	理事	神山 雅彦	事務局長

会員の保険制度加入状況

保険の種類	内 容	補償限度額
団体総合生活 保障保険	就業中の会員 死亡・後遺障害	1,400万円
	就業中の会員 入院日額	5,000円
	就業中の会員 通院日額	3,000円
	傷害医療費用	100万円
賠償責任保険	請負の相手方 身体傷害	1名 3,000万円
	請負の相手方 財物損壊	1事故 1,000万円
熱中症見舞金 制度	死亡見舞金	10万円
	入院(2泊3日以上)	5万円
	入院(1泊2日)	3万円
	通院	5,000円
サイバー保険	賠償責任	5,000万円

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター 組織図



《 参 考 資 料 》

会 員 在 籍 2 0 年 表 彰 者 名 簿

会 員 在 籍 1 0 年 表 彰 者 名 簿

役 員 感 謝 状 贈 呈 者 名 簿

令 和 6 年 度 事 業 計 画

令 和 6 年 度 収 支 予 算

契 約 方 法 の 変 更 資 料

部 会 ・ 委 員 会 名 簿

地 域 班 長 名 簿

職 域 班 世 話 人 名 簿

役 職 員 名 簿

シ ル バ ー ポ イ ン ト 資 料

安 全 心 得 1 0 ケ 条



令和6（2024）年度 事業計画

令和6年1月1日現在の65歳以上人口が3,620万人となり、我が国の総人口の29.1%を占め、人口減少と少子高齢化がさらに進展したことで、高齢者のより一層の活躍が期待されています。

このような中で、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域の高齢者が長年培った知識・経験・技能を活かし、就業を通して健康で豊かな生活と積極的な社会参加による生きがいの充実を図ることを目的とするシルバー人材センターの存在意義、またその果たす役割は大きく、人生100年時代を見据えた地域の担い手としてますます期待が寄せられているところです。

当センターは、昭和63年3月に事業開始以来、更なる飛躍を目指して、シルバー人材センターの最重要課題である就業機会の拡大・確保や会員の増加に積極的に取り組むとともに、当町が重点施策の柱として掲げている「高齢者支援」の施策展開を図り、公益社団法人としてより法令を遵守し、地域社会に根ざした法人として取り組んでまいります。

また、会員が求める多様な働き方に対応した雇用・就業機会を確保するため、シルバー派遣事業や新たな受託事業の開拓に努め会員の増加を図り、技能を必要とする就業においては後継者の育成を促進し、更に、会員及び役職員が一丸となって精力的に事業を展開してまいります。

1. 重点目標

(1) 会員増加と退会抑制に努力いたします。

労働者人口が減少する中、会員が減少し受注が伸びない状況が続いています。

デジタルを利用した入会しやすい環境づくりと、居心地の良い組織づくり、福利厚生等の充実により、今年度は、県が指標としている会員数337人を目標に取り組み、会員の増加を図り、会員と役職員とが力を合わせ、既存受注の定着及び拡大や新規受注の確保、介護関連事業の開拓等を図るとともに、請負業務の新規開拓に努め、会員の就業機会の確保に取り組んでまいります。

(2) 信頼されるシルバー人材センターとなるよう努めます。

会員が、技能や知識を身につけ、社会に貢献できるようワークプラザ等を利

用した各種講習会・研修会を実施して知識・技能の向上を図りながら、各種ルールを徹底し、会員の能力・資質向上に努めます。また、お客様の声を把握して、そのニーズに応える誠実な仕事をしていくよう努めてまいります。更に、ふれあい文化祭や、ボランティア活動などによる社会貢献を促進し、信頼されるシルバー人材センターになるよう努めてまいります。

(3) 基本理念である「自主・自立、共働・共助」の推進を図ります。

会員、役員、職員との連携を密にし、苦情・要望・提案など情報の共有化を図り、会員自らの意識を改革し、受注先開拓・受注作業の円滑な処理・就業機会の均衡化など、自主的・主体的な活動の推進に努めてまいります。

また、会員の安全就業・健康管理の注意を喚起し、事故“ゼロ”の実現に努めてまいります。

事業の適正な運営を期すために、行政機関・県シ連及び周辺シルバー人材センターと連携を密にし、着実かつ健全な発展に努め、地域社会に貢献してまいります。

(4) 新たな契約方法への円滑な移行に努めます。

フリーランス新法に適切に対応するための、お客様と会員、シルバー事務局との関係を見直し、新たな契約方法に円滑に移行できるよう、関係者の理解を得ながら進めてまいります。

また、会計処理や業務のデジタル化の検討、会員の技術向上に努めてまいります。

2. 具体的な実施計画

(1) 入会しやすい環境づくり

シルバー事業の趣旨を普及し、会員増加を図るため、会報「いぶしぎん」の発行やパンフレットの配布を行うとともに、ホームページやフェイスブック、ラインによる就業情報発信の充実も図っていきたいと思っています。

年度途中からの入会の負担軽減のための会費減額や、仕事を見つけてから登録する「仮登録」制度も周知し、より気楽に参加できる組織になるようを目指してまいります。

(2) 永続的会員の増加

年齢が高くなると仕事の継続も困難になってきますが、同じ仕事の継続ができなくても、仲間とともに一定の役割を持ち組織に留まれる施策を進めます。

具体的には、ゴールド会員制度やポイント制度の利用拡大、得々ガイドの発行や趣味やサークル活動の拡充、旅行など互助会活動への支援、ふれあい文化祭の充実、各種表彰の充実、ボランティア活動の推進等により、会員との触れ合いを重視し、組織に留まる人の増加を図っていきたいと思います。

(3) 就業に関する知識、技能の向上

お客様の信頼とニーズに応えるため、会員に就業上の必要な知識・技能の向上を目的とし、各種研修会・講習会を実施いたします。

また、会員のスキルアップを図り、スマホ利用を進め、ライン等に対応できる会員を育成し、デジタルスキルの活用による就業機会の拡大に努めます。

(4) 安全就業の推進

シルバー就業は、会員が安全に就業できることが最優先であり、就業中の事故ゼロを目指して、次のとおり安全対策や意識の高揚、啓発に努めます。

- ① 安全委員会の開催及び安全パトロールの実施、熱中症予防など巡回活動の強化
- ② 交通安全講習会の実施
- ③ 安全就業研修会、各種技能・技術講習会等への参加
- ④ 事故原因の分析、事故防止対策の検討
- ⑤ KY（危険予知）活動の実施
- ⑥ 感染防止対策の実施
- ⑦ 衛生委員会の実施
- ⑧ 蜂刺されによるショック死防止対策（エビペンの所持）の実施
- ⑨ 表彰制度の創設
- ⑩ 熱中症対策として、猛暑期の休憩時間増と就業環境の改善

(5) 就業機会の開拓と確保

あらゆる機会を捉え広報活動を強化し、公共機関及び企業・一般家庭等にシルバー事業の理解を求め、短期・短時間就業であっても受けさせて頂くなど受

注拡大に努めるとともに、フリーランス新法に対応した新たな契約制度に円滑に移行できるよう丁寧に説明し既受注先等にご理解いただけるよう努めます。さらに「スマホ講習会の講師育成」など、新たな就業機会拡大のため、役職員・会員一人ひとりが「会員一人一仕事紹介」の実践に努めます。

(6) 就業機会の均衡化

会員の能力と希望に応じて公平に就業機会が得られるよう、ローテーションを組むなど均衡化を図り、ワークシェアリングの精神に基づき、長期就業の改善のため、適正就業に関する取扱要領に基づき均衡化に努めます。

併せて、未就業会員の就業促進を図ります。

(7) ワークプラザを拠点とした事業の推進

各種講習会・研修会を開催して会員の質的向上を図り、ワークプラザを拠点とした独自活動の拡大と、会員同士の交流、居場所づくりを推進し、退会抑制を図ります。

(8) 福祉家事援助サービス事業の推進

超高齢社会の中にあって、地域における介護関連事業の重要性が増しており、当センターにも期待が寄せられております。

今後、需要が増加する介護保険総合事業の関連サービスに対応した事業の検討をするとともに、介護有資格者の活用や家事援助等の講習会を実施し、会員の拡充と技術の向上を図ります。

(9) シルバー派遣事業の推進

指揮命令を伴う仕事はシルバー派遣事業で受注するなど、法令遵守に基づく適正就業を推進するとともに、新たな受注拡大と就業形態への対応及び多様な就業を確保するため県シ連と連携して派遣事業に積極的に取り組んでいきます。

(10) 職業紹介事業への取り組み

多様な就業の場を求める高齢者が増加していることから、あらゆるニーズに適切に対応する為派遣事業に併せて、有料職業紹介事業を進めていきます。

(11) シルバー人材センター事業の目的を達成するための諸活動

① 独自事業の展開

手作りショップ「ひまわり」の会員への割引サービスを継続し、その財源を支援する事で、会員優遇制度の充実と、独自事業の拡大を図ります。

ふれあい文化祭や、福祉健康祭りへの出展等を通して、会員の趣味・特技を生かした各種サークル活動を充実し、次のステップとして独自事業への発展を促します。

② 地域社会奉仕活動

会員による町内一斉清掃ボランティア活動や桜堤の遊歩道清掃活動を展開し、シルバー人材センターの存在をアピールするとともに、会員個人としても通学児童の見守り隊をはじめ、各種ボランティア活動や地域活動にも参加して地域社会に貢献していただくよう推進いたします。

③ 会員への福利厚生活動

会員相互の親睦を深め、シルバー人材センター事業の活性化と心豊かな仲間づくりを図るため、互助会の活動に積極的な支援をしていきます。

特に会員交流行事や、生きがいや楽しみを求めて行う各種サークル活動を支援し、魅力あるセンターづくりを目指します。

令和6年度(2024年度) 収支予算 会計区分別

令和6年(2024年)4月1日から令和7年(2025年)3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,000	0	0	1,000
特定資産受取利息	1,000			1,000
受取会費	390,000	340,000	0	730,000
正会員受取会費	300,000	250,000		550,000
賛助会員受取会費	90,000	90,000		180,000
事業収益	135,322,000	3,214,000	0	138,536,000
受取配分金	115,790,000			115,790,000
受取材料費等	11,900,000			11,900,000
受取事務費	7,632,000	3,214,000		10,846,000
労働者派遣事業等受託収入	3,890,000	0		3,890,000
労働者派遣事業等受託収入	3,890,000			3,890,000
職業紹介事業受託収益	90,000	0		90,000
職業紹介事業受託収益	90,000			90,000
受取補助金等	27,000,000	0	0	27,000,000
受取連合交付金	13,500,000			13,500,000
受取町補助金	13,500,000			13,500,000
受取寄付金	1,000	0	0	1,000
受取寄付金	1,000			1,000
施設管理委託収益	755,000	0	0	755,000
施設管理委託	755,000			755,000
雑収益	2,000	0	0	2,000
受取デジタル交付金	0			0
雑収益	2,000			2,000
経常収益計	167,451,000	3,554,000	0	171,005,000
(2) 経常費用				
事業費	167,451,000		0	167,451,000
支払配分金	115,790,000			115,790,000
支払材料費等	11,103,000			11,103,000
給料手当	4,013,000			4,013,000
臨時雇賃金	145,000			145,000
法定福利費	3,537,000			3,537,000
退職給付費用	1,110,000			1,110,000
福利厚生費	69,000			69,000
会議費	148,000			148,000
旅費交通費	339,000			339,000
通信運搬費	883,000			883,000
減価償却費	956,000			956,000
消耗什器備品費	66,000			66,000
消耗品費	945,000			945,000
修繕費	124,000			124,000
印刷製本費	340,000			340,000
光熱水料費	738,000			738,000

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
賃借料	1,551,000			1,551,000
保険料	1,642,000			1,642,000
諸謝金	18,833,000			18,833,000
租税公課	2,162,000			2,162,000
支払負担金	40,000			40,000
委託費	2,821,000			2,821,000
教材費	1,000			1,000
支払手数料	50,000			50,000
雑費	45,000			45,000
管理費		3,554,000	0	3,554,000
給料手当		466,000		466,000
臨時雇賃金		1,000		1,000
法定福利費		75,000		75,000
退職給付費用		34,000		34,000
福利厚生費		89,000		89,000
会議費		242,000		242,000
旅費交通費		614,000		614,000
通信運搬費		113,000		113,000
減価償却費		1,000		1,000
消耗什器備品費		1,000		1,000
消耗品費		34,000		34,000
修繕費		7,000		7,000
印刷製本費		170,000		170,000
光熱水料費		39,000		39,000
賃借料		404,000		404,000
保険料		58,000		58,000
諸謝金		20,000		20,000
租税公課		2,000		2,000
支払負担金		595,000		595,000
委託費		139,000		139,000
支払手数料		400,000		400,000
雑費		50,000		50,000
経常費用計	167,451,000	3,554,000	0	171,005,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
過年度減価償却益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
過年度減価償却損				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	23,386,792	49,590	0	23,436,382
一般正味財産期末残高	23,386,792	49,590	0	23,436,382
II 正味財産期末残高	23,386,792	49,590	0	23,436,382

(1) 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位:円)

	予算額	前年度予算額	増減
【投資活動収支の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	0	0	0
固定資産所得積立資産	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
(投資活動支出)			
特定資産取得支出	0	0	0
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
財政運営資金資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0

(2) 借入金限度額

令和6年度における短期借入金限度額は、10,000,000円とする。

(3) 債務負担額

(単位:円)

年 度	金 額	内 容
令和6年度	3,480,352	シルバーシステム等一式、電話機、給茶器リース料
令和7年度	3,283,782	シルバーシステム等一式、電話機、給茶器リース料
令和8年度	3,057,072	シルバーシステム等一式、電話機、給茶器リース料

2 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無、予定がある場合は、その借入先。

借入の予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
事業番号	借入先	金額	用途

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無、予定がある場合はその内容等。

設備投資の予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使徒

「フリーランス法」の制定を踏まえて 就業機会の提供に関する契約関係を見直します

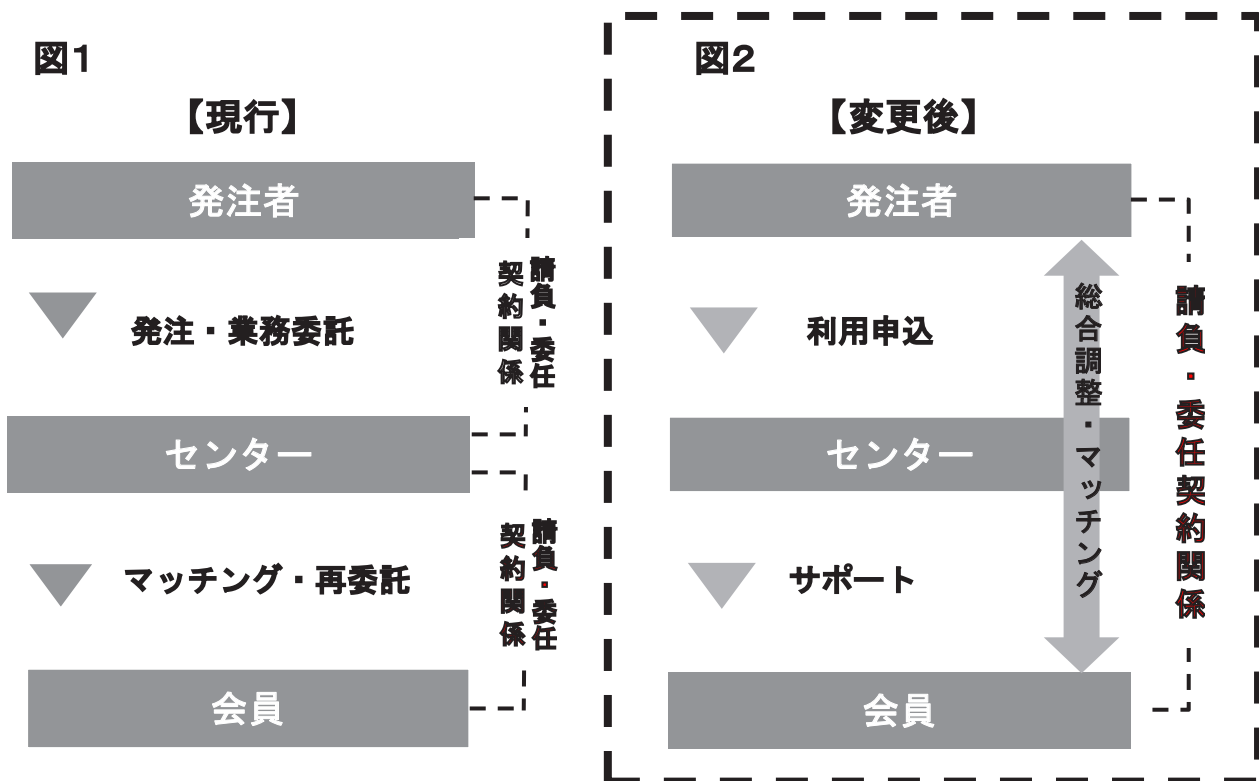
令和5年5月12日に、いわゆる「フリーランス法」（「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」）が公布されました。この法律の趣旨※を踏まえ、また、フリーランス法の施行（令和6年秋を予定）を見据え、シルバー人材センターの会員が請負・委任の形態で就業する契約について、契約方法の見直しを行います。

シルバー人材センターが発注者から受託した仕事を会員に再委託する現行の契約方法は、発注者と会員との間で直接的な契約関係が生じる構造になっていません。

このため、会員の皆さまがフリーランス法による保護を受け、安心・安全に就業できる環境を整備する必要があります。また、厚生労働省からも、シルバー人材センターの契約方法について見直しを行うよう方針が示されています。

皆さまにおかれましては、契約方法見直しへのご理解をお願いします。

■見直しのイメージ



※フリーランス法とは？

個人が事業者（特定受託事業者。いわゆるフリーランス。「シルバーの会員」も該当）として受託した業務に安定的に従事することができる環境を整備するため、特定受託事業者に業務委託をする事業者（特定業務委託事業者。いわゆる発注者）に対して、給付の内容

1 会員とセンターの関係

形式的には発注者と会員との間で契約関係が生じることになりますが、実務面では現在と基本的に変わることはありません。センターは、発注者と会員の間に入って様々な調整を行います。依頼された仕事の履行や会員が安心して働くことができる環境の確保等についても、現在と同じようにセンターが責任をもって対応します。

会員の皆さまには、今までどおり安心して仕事に就いていただき、就業に関して何かお困りのこと等があれば、遠慮なくセンターにご相談ください。

2 業務仕様書への同意

発注者とセンターの間で契約を締結することには変わりはありませんが、今後は原則として、就業を予定する会員に対して、業務の内容や報酬の額などをお示し（口頭説明を含む）します。その上で、当該業務を受けるかどうか判断いただき、同意いただくこととなります。同意いただくことで発注者との間に契約関係が成立することとなります。

なお、発注者が事業者の場合は、就業前に業務内容や報酬の額などを記載した「会員業務仕様書」を書面または電磁的方法により明示することとなります。

3 デジタル化による対応について

会員への「会員業務仕様書」の明示について、来所による手渡しや郵送等では、時間や事務負担がかかり非効率となります。

そのため、センターでは、「会員業務仕様書」の内容をスマートフォン等で会員が自ら確認できるようなデジタル明示の仕組みを進めています。すでにスマートフォンに慣れ親しんでいる会員におかれましては、出来るだけデジタル明示を可能とするシステム登録をお願いします。（詳しくはセンター職員にお尋ねください）

4 報酬の扱いについて

配分金については、これまでと同様「雑所得」として扱われます。また、所得金額の計算に際して、「家内労働者等の必要経費の特例」が適用され、必要経費として55万円まで認められることについても現行と変わりません。

公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会
公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

部 会 ・ 委 員 会 名 簿

任期 令和5年定時総会時～令和7年定時総会時

1. 専門部会

(1) 総務部会

(順不同、敬称略)

理 事	岡沢 啓造 (部会長) 萩原 彰二 木村 美恵子
会 員	石原 良明(副部会長) 渡邊 甲志 杉山八重子
事務局	杉山 恵美子(坂野鎮子)

(2) 事業部会

理 事	松井 功(部会長) 信田 知恵子 西浦 正美
会 員	内田 将善(副部会長) 寺内伊三夫 加藤芳往 市川 鉄憲
事務局	渡邊 雅仁 (白畑由美子)

(3) 広報部会

理 事	神田 勝(部会長) 後藤 照代 渡辺 秀子
会 員	鈴木 斐子(副部会長) 芳賀 さと子 松崎 雅敏
事務局	白畑 由美子(坂野鎮子)

2. 理事監事候補者選考委員会

理事監事候補者選考委員(理事3名、会員4名)

理 事	松井 功 山口 素行 岡沢 啓造
会 員	寺内伊三夫(委員長) 内田 将善(副委員長) 勝間田 一夫 高橋 忠昭

3. 安全委員会

安全委員(理事4名、会員4名、事務局1名)

理 事	繁松 紀弘 (委員長) 岡沢 啓造 萩原 彰二 西浦 正美
会 員	加藤 種雄(副委員長) 小野 勝年 本間作之助 秋山 勝
事務局	山田文和(石黒 正行)

4. 衛生委員会(人材派遣業務:連合会長泉町事務所及び事務局)常時労働50人以上 労働安全衛生法

事 務 所 (3)	神山雅彦(委員長) 杉山恵美子(衛生管理者) 太田 宏平 (産業医)
労働者(2)	岡沢啓造 後藤 照代 (事務局)杉山恵美子

5. ふれあい文化祭実行委員会

理 事	山口 素行(委員長:互助会会長) 繁松紀弘(副)、岡沢啓造(副)、 渡邊秀子、神田勝、木村美恵子、西浦正美
互助会	寺内伊三夫(副会長) 内田将善(副会長) 押山昌弘

地 域 班 長 名 簿

任期 令和5年定時総会時～令和7年3月31日

(敬称略)

地区	班名	地 域	班長名
長窪地区	1-1 班	元長窪、上長窪	霞 登
	1-2 班	屋代住宅	中村 房枝
	2 班	下長窪、谷津	松崎 雅敏 米原 敏子
	3 班	池田、尾尻住宅	中村 三重子
南一色、 納米里 地区	4 班	駿河平、南一色、八分平、東べ南一色	関 知典
	5 班	納米里	渡邊 政勝
上土狩、 中土狩 地区	6 班	上土狩（桜堤含む）、惣ヶ原	橋本 輝雄 押山 昌弘
	7 班	中土狩（桜堤含む）エンゼル、シャリエ中土狩、東レ自治会	早津 知子
下土狩 1 地区	8 班	鮎壺、荻素、シャルマン	秋山 勝
	9 班	新屋町上、新屋町中 新屋町下	田口 鈴代
	10 班	駅上、駅中、駅下、薄原上 薄原下	加藤 宏司
下土狩 2 地区	11 班	西、原、東、シャリエ南・東	杉山美智子
	12 班	原分、杉原、三軒家、グランツ	市川 鉄憲
竹原、本宿 地区	13 班	高田、竹原、エンゼル西、シャルマン 竹原	清水 清吾
	14 班	本宿	川村 成則

職 域 班 世 話 人 名 簿

任期 令和5年定時総会時～令和7年3月31日

(敬称略)

班 名	氏 名
造園グループ (植木、草刈、収集)	石原 良明 (植木1班) 西浦 正美 (植木2班) 秋山 勝 (植木3班) 近藤 登志夫 (草刈り1班) 加藤 種雄 (草刈り2班) 宮川 清司 (草刈3班) 鈴木 太三 (収集班)
木 工 班	山田 耕作
若 草 班 (草取り)	早津 知子
サポート 班 (介護、子育て支援、家事援助)	芳賀 さと子
美 化 班 (企業内清掃)	渡辺 政勝
リフォームひまわり班	杉山 美智子
管 理 グループ	加藤 宏司

役員名簿 令和6年4月1日現在

任期 令和5年6月定期総会時から令和7年6月定期総会時まで

理事・監事	氏名	備考
理事長	山田 幸一	
副理事長	繁松 紀弘	安全委員会委員長
理事	松井 功	事業部会長
理事	後藤 照代	
理事	山口 素行	
理事	岡沢 啓造	総務部会長
理事	渡辺 秀子	
理事	信田 知恵子	
理事	萩原 彰二	
理事	神田 勝	広報部会長
理事	木村 美恵子	
理事	西浦 正美	
常務理事	山田 文和	
監事	関 知典	
監事	平川 聡	

職員名簿

職名	氏名	
事務局長	神山 雅彦	総括
次長	杉山 恵美子	事務局長補佐・経理担当
職員	石黒 正行	業務担当(公共)、保険、草取
職員	白畑 由美子	経理・庶務担当、民間請負、広報
嘱託員	渡辺 雅仁	植木、草刈り、民間請負
嘱託員	山田 文和	民間請負、安全委員会、局長補佐
嘱託員	坂野 鎮子	派遣、家事援助コーディネーター、リフォーム

(公社)長泉町シルバー人材センター

第29回 会員互助会総会

議 案 書

日 時 令和6年6月19日(水) 第13回定時総会終了後
場 所 コミュニティながいずみ 3階

第29回 会員互助会総会 次第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議長あいさつ
5. 議事
 - (1) 第1号議案 令和5年度事業報告について
 - (2) 第2号議案 令和5年度収支決算について
令和5年度監査報告
6. 報告事項
 - (1) 令和6年度事業計画について
 - (2) 令和6年度収支予算について
7. その他
8. 議長退任あいさつ
9. 閉会のことば

第1号議案

事業報告について

公益社団法人長泉町シルバー人材センター会員互助会も設立以来28年を経過し、会員数は3月末現在301名となっており、会員の相互扶助および福利厚生を図ることにより、健康及び生きがいに寄与することを目的とした事業も、会員皆様方の協力により達成できました。

以下、令和5年度の事業報告をします。

1 慶弔贈与事業

喜寿のお祝い14名、お香典3名、見舞い3名

2 福利厚生事業

(1) グラウンドゴルフ大会

第50回 令和5年4月22日 30名参加

第51回 令和5年11月3日 32名参加

(2) 研修旅行

山梨方面 令和5年10月10日 24名参加

令和5年10月30日 25名参加

(3) 新年会

御殿場高原時の栖 麦畑 令和6年2月2日 55名参加

3 同好会活動

(1) 山野草愛好会

山岸園山草盆栽店見学研修

(2) 写真同好会

勉強会年12回実施、

撮影会 令和5年5月27日 9人参加

令和5年11月7日 27人参加

町文化協会展参加、町文化祭参加

(3) ゴルフ同好会

活動休止

(4) カラオケ同好会

12回実施

第2号議案

令和5(2023)年度 収支決算報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

収入	626,955
支出	211,780
差引(次年度へ繰越)	415,175

(収入)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引 (予算-決算)	備考
会費	150,000	151,500	△1,500	
雑収入	4	4	0	預金利息
前年度繰越金	475,451	475,451	0	
合計	625,455	626,955	△1,500	

(支出)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引 (予算-決算)	備考
事業費	100,000	140,780	△40,780	同好会・グラウンドゴルフ大会 2回、新年会
慶弔費	61,000	66,000	△5,000	お香典 5,000×3名、お見舞 3,000×3名、喜寿祝 3,000×14名
事務費	3,000	5,000	△2,000	総会印刷代、消耗品代
予備費	461,455	0	461,455	
合計	625,455	211,780	413,675	

上記の通り報告いたします

会長 山口 素行 ㊟

会計 岡沢 啓造 ㊟ (原本は署名押印済みです)

監査報告書

(公社)長泉町シルバー人材センター会員互助会の令和5年度の事業の執行並びに収支決算について監査した結果、いずれも適正であることを認めます。

令和6年5月9日

監事 松井 功 ㊟

監事 上野 直美 ㊟ (原本は署名押印済みです)

報告事項（1）令和6年度 事業計画について

事業計画を次の通り報告します。

1 慶弔贈与事業

互助会活動の目的である慶弔贈与事業は、その目的を達成しており、今年度も前年どおり継続してまいります。慶弔事項の発生は会員皆様からの連絡が頼りです。皆様方のご協力を宜しく申し上げます。

2 福利厚生事業

会員相互の親睦を図るため、今年も前年同様下記の通り事業計画を提案致します。又、さらに同好会の新規発足に努力をしていきます。皆様方の積極的なご協力を宜しくお願い致します。

（1）グラウンドゴルフ大会

第52回 6/8（土）、第53回 12/21（土）中央グラウンドにて実施

（2）新年会 御殿場高原時の栖で検討

（3）親睦旅行（日帰り）

10月頃2回予定

（4）ふれあい文化祭

実施日 令和6年秋又は7年春で検討

（5）会員限定割引

直営店「手作りショップひまわり」の服、バッグや木工玩具等、会員限定の割引を行い福利厚生の充実を図ります。

3 同好会活動

（1）山野草愛好会

山岸園山草盆栽店、野乃花山野草店、研修見学
寄せ植え勉強会年数回の実施、ふれあい文化祭出品展示

（2）写真同好会

撮影会年2回、勉強会年10回の実施
町文化協会展、町文化祭、ふれあい文化祭参加予定

（3）ゴルフ同好会

年1回のコンペの実施予定、参加者募集中！

（4）カラオケ同好会

定期練習10回、年2回発表会

報告事項(2)令和6(2024)年度 収支予算について

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

収支予算を次のとおり報告します。

(収入)

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	150,000	150,000	0	500円×300名
雑収入	4	4	0	預金利息等
前年度繰越金	415,175	475,451	△60,276	
合計	565,179	625,455	△60,276	

(支出)

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事業費	150,000	100,000	50,000	新年会・各同好会・グラウンドゴルフ大会他・会員旅行
慶弔費	60,000	61,000	△1,000	喜寿祝(5年分12名)・見舞・香典等
事務費	3,000	3,000	0	事務用品購入代、総会用印刷代
予備費	352,179	461,455	△109,276	
合計	565,179	625,455	△60,276	

科目間の流用は可とする

互助会役員名簿

(令和5年定時総会時～令和7年定時総会時)

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	岡 沢 啓 造	幹 事	市 川 鉄 憲
副 会 長	寺 内 伊 三 夫	幹 事	橋 本 輝 雄
副 会 長	内 田 将 善	幹 事	押 山 昌 弘
副 会 長	萩 原 彰 二	幹 事	渡 邊 政 勝
会 計	上 山 克 己	幹 事	早 津 知 子
幹 事	霞 登	幹 事	秋 山 勝
幹 事	中 村 房 枝	幹 事	田 口 鈴 代
幹 事	松 崎 雅 敏	幹 事	加 藤 宏 司
幹 事	米 原 敏 子	幹 事	杉 山 美 智 子
幹 事	中 村 三 重 子	幹 事	清 水 清 吾
幹 事	関 知 典	幹 事	川 村 成 則
※ 幹事は各地域班長が兼ねる			
監 事	松 井 功	監 事	上 野 直 美
顧 問	大 塚 睦 志		

※会長、会計は、令和6年6月19日から前役員が残任期間まで

第29回互助会総会

喜寿祝贈呈者名簿

5年度該当者 12名（令和5年4月1日～令和6年3月31日該当者）
（敬称略）

会員番号	氏名	会員番号	氏名
1003	古谷伸雄	1018	杳間文子
1043	佐野富男	1095	稲木英一
1211	高橋忠昭	1335	勝又享子
1373	黒田五治	1410	小澤恵美子
1420	渡邊甲志	1454	惣楽金次
1458	竹村克己	1473	横田輝代治

※定時総会までに5年以上会費を納入した会員に限る。

シルバーポイントを貯めると年会費が安くなる！！

LINE でもポイントがたまる！！

ポイントが加算される場合 ※仮・・・仮登録の人も対象、入会后次年度の会費が減額	
・正会員を紹介 紹介された方が正会員として入会※仮 ・配偶者を紹介して正会員として入会 本人と配偶者に※仮	5ポイント
総会、講習会、研修旅行、地域懇談会、ふれあい文化祭(お手伝い)ボランティア活動 参加 1 回につき (ボランティア活動の例) ・桜堤遊歩道清掃ボランティア 毎月第3水曜日(12月 は 28日)9時～ シルバー集合 ・10月19日 町内一斉清掃ボランティア ※他ボランティアは事務局へ問い合わせ。	1ポイント
役員等の活動(理事、監事、地域班長、互助会役員) 1年あたり	5ポイント

◎ポイントと交換できるサービスと必要ポイント ※交換は翌年からです。

一般会員の会費(互助会を含め)

2,500円を1,500円に減額 必要ポイント 5ポイント

ゴールド会員の会費(互助会を含め)

1,500円を500円に減額 必要ポイント 5ポイント

※互助会費500円は減額対象外

※ポイントが貯まった方は、3月までに事務局に、ポイントカード(又は参加を記録したもの)を見せ申請下さい、会費の減額処理をします。

便利なスマートホン ポイントカード(ショップカード)が利用できます。

- ① ボランティア活動に参加して事務局が持っている QRコードをスマホで読み込む。
- ② シルバーのポイントカードがスマホのラインで作れます。
- ③ 参加するたびに QRコードを読み込む。
- ④ 5ポイント貯まったら、3月までに事務局に見せ申請下さい会費を減額します。



ポイントカードは、この QRコードを読み込み、お友達登録で「会員特典」をタッチすると取得できます。



安 全 心 得 10 ケ 条

- 1) 作業は、安全第一を心がけ、急いだりあわてたりしないこと。
- 2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- 3) 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにすること。
- 4) 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- 5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- 6) 作業現場では、常に整理整頓を心がけること。
- 7) 共同作業では、合図、連絡を正確に行うこと。
- 8) 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること。
- 9) 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- 10) 仕事の前日は、十分睡眠をとるように心がけること。